

札幌文化芸術劇場 hitaru（公益財団法人 札幌市芸術文化財団）では、地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaru を舞台としたオペラ作品を創造・発信する hitaru オペラプロジェクトを開催しています。

令和7年度は若手歌手を対象に、第2回 hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」公演にて演出を務めた栗國 淳氏および振付を務めた雨森景子氏・高橋宏尚氏を講師に迎え、オペラの身体表現について深めるワークショップ研修を実施します。ぜひご応募ください。

■研修開催日時

2025年11月9日（日）・10日（月） ＊詳細スケジュールは下記をご確認ください

■研修会場

クリエイティブスタジオおよび札幌文化芸術劇場 hitaru
（札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ3階・5階）

■研修内容

①アルテ・シェニカ

オペラで求められる舞台上の身体表現について、演出家の視点からのレクチャーや実践的な指導を行います。
講師／栗國 淳

＊課題については、受講者決定後にモーツァルト作曲「フィガロの結婚」または「ドン・ジョヴァンニ」から指定します。
（9月中旬頃予定）また、楽譜詳細については3ページをご確認ください。

②クラシック・バレエ

バレエダンサーの視点から、日々の練習に活用できるウォーミングアップのメニューと、美しい所作やダンスシーンにつながる身体表現の基礎を指導します。

講師／雨森 景子、高橋 宏尚（AT Ballet Academy）

■スケジュール

11月9日（日）【1日目】		11月10日（月）【2日目】	
A チーム	B チーム	A チーム	B チーム
9:30 受付開始	9:30 受付開始	9:30 受付開始	9:30 受付開始
10:00-11:00 バレエ・ウォーミングアップ①	11:00-12:00 バレエ・ウォーミングアップ①	10:00-13:00 アルテ・シェニカ②	12:00-13:00 バレエ・ウォーミングアップ②
12:00-13:30 ランチ交流会	12:00-13:30 ランチ交流会		
13:30-14:30 栗國氏による 身体表現レクチャー	13:30-14:30 栗國氏による 身体表現レクチャー	14:00-15:00 バレエ・ウォーミングアップ②	14:00-17:00 アルテ・シェニカ②
14:30-17:30 アルテ・シェニカ①	18:00-21:00 アルテ・シェニカ①	17:30-18:30 バレエ・身体表現	17:30-18:30 バレエ・身体表現

＊チーム分けは、受講者決定後に劇場が指定します。

＊1日目の研修は全てクリエイティブスタジオで行います。2日目の研修は、アルテ・シェニカとバレエ・身体表現は劇場、バレエ・ウォーミングアップはクリエイティブスタジオで行います。

＊申込状況により、上記スケジュールは変更になる場合があります。

＊アルテ・シェニカのコースについては、各チームの研修がない時間に、もう一方のチームのクラスを見学することができます。

■応募資格 *下記条件の全てに当てはまる方

- ・受講時満 40 歳以下で、大学、短期大学または専門学校において声楽を専門的に学び、すでに卒業されている方。かつ、北海道在住もしくは北海道ゆかりの方。
 - * 声楽を専門機関で学んでいなくても、それと同等の実力をお持ちの方はご応募いただけます。
 - * 大学院在学中の方でもご応募いただけますが、応募者多数の場合はすでに卒業されている方を優先します。
- ・将来ソリストとして、オペラに関わっていきたいと希望される方。
- ・原則全ての研修スケジュールにご参加いただける方。
- ・今後の hitaru オペラプロジェクトへの参加に意欲のある方。

■定員

12~14 名程度

- * 応募者多数の場合は、講師による書類審査により受講生を決定します。残念ながら落選された場合は、聴講生としてご参加いただけます。(聴講料/2 日間 一般 3,000 円、U25 1,500 円 (予定))
- * U25 : 2000 年以降にお生まれの方(未就学児を除く)であれば学生に限らずご購入いただけます。

■受講料

6,000 円 (2 日間、税込)

■申込方法

右記申込フォームから、下記の必要事項をご記入の上、お申込みください。

- ①申込者氏名 (漢字、フリガナ)
- ②ご連絡先 (メールアドレス)
- ③ご連絡先 (電話番号)
- ④郵便番号、住所
- ⑤生年月日、受講時の年齢
- ⑥声種
- ⑦プロフィール (出身大学・音楽歴・所属団体等)
- ⑧これまでのオペラ出演歴 (演目・主催団体・指揮者・配役等、複数記入可)
- ⑨これまでのクラシック・バレエ経験歴
- ⑩応募理由 (本研修で学びたいこと、ご自身で課題に感じていること等)
- ⑪歌唱動画の URL
- ⑫北海道との関わりについて
- ⑬備考

【応募フォーム】

<https://forms.gle/tu3fukWer8ijP15Q9>

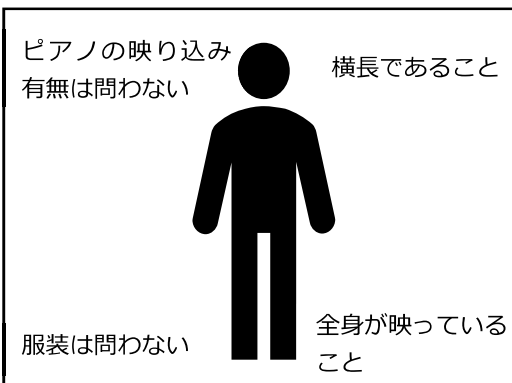
こちらからご応募いただけます▶



■歌唱動画規定

- ・ご自身のレパートリーから、任意のイタリア語のオペラのアリア (1 曲) をピアノ伴奏にて、歌っている動画を提出してください。
- ・映像は横長サイズで、カメラアングルは固定とし、応募者の全身が明確に映っている映像にしてください。
- ・使用録画機材の音声ボリュームに関し、自動調整機能は使用しないでください。
- ・撮影場所、機材はご自身にてご手配ください。
- ・ご自身が出演した演奏会の記録映像等、すでに歌唱動画がある場合は、そちらの URL を提出いただいても構いません。

●提出動画イメージ



ただし、映像の使用許可はご自身でご確認ください。(過去2年以内に撮影されたものに限る)

- ・撮影した録画映像は、ご自身のYouTubeチャンネルにアップロードし、応募フォームよりURLをご提出ください。
- ・YouTubeにアップロードした映像は、「限定公開」に設定してください。
- ・YouTubeの説明は、下記のとおり記載してください。

【タイトル】hitaru オペラプロジェクト関連事業 身体表現研修

■受付期間

2025年7月11日(金) 10:00~8月10日(日) 17:00

*9月10日(水)までに参加可否をメールにてご連絡いたします。hitaru オペラプロジェクト事務局 (hitaru-operaproject@sapporo-community-plaza.jp) からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

■その他

- ・研修にかかる経費(交通費、宿泊費、食費(ランチ交流会を除く)等)は各自の負担になります。
- ・課題に係る下記の楽譜は、ご自身でご用意ください。
(ベーレンライター社 ヴォーカル・スコア(伊語/独語、出版年の指定なし)
モーツァルト: オペラ『フィガロの結婚』KV492、オペラ『ドン・ジョヴァンニ』KV527)
- ・バレエシューズは不要ですが、動きやすい服装でご参加いただきます。また、ヨガマットをお持ちの方はご持参ください。
- ・研修の様子を撮影し、hitaru オペラプロジェクト関係者への公開、広報・アーカイブ配信等で使用する場合がありますので、ご了承ください。
- ・11月9日(日) 13:30-14:30「栗國氏による身体表現レクチャー」については、一般公開を行います。聴講生の募集については、受講生決定後にご案内いたします。

お問合せ

札幌市民交流プラザ 劇場事業課 hitaru オペラプロジェクト事務局
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目
TEL: 011-271-1950 (9:00~17:00 休館日を除く)
E-mail: hitaru-operaproject@sapporo-community-plaza.jp

■講師プロフィール

アルテ・シェニカ/栗國 淳

東京生まれローマ育ち。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラの演技・演出法をM.ゴヴォーニに師事。新国立劇場ではF.ゼッフィレリ、L.ロンコーニなど巨匠達の演出助手を務めた。98年から文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊、H.ブロックハウスのもとで研鑽を積んだ後、P.ファッジオーニ、A.ファッシーニなどの片腕としてヨーロッパを拠点に活躍。97年藤原歌劇団公演「愛の妙薬」で演出家デビュー。びわ湖ホール、二期会、神奈川県民ホール共同制作「トゥーランドット」「アイーダ」「オテロ」、東京二期会「仮面舞踏会」、あいちトリエンナーレ「ホフマン物語」、藤原歌劇団「ファルスタッフ」「ノルマ」、日生劇場オペラ「アイナダマール」(日本初演)「セビリアの理髪師」、紀尾井ホールバロックオペラ「オリンピーアデ」など多数の作品を手がける。海外ではサッサリ・ヴェルディ劇場「アンドレア・シェニエ」「エルナーニ」、スロベニア国立マリポール歌劇場「ホフマン物語」を演出している。11年度エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。新国立劇場では「ラ・ボエーム」「セビリアの理髪師」「おさん」「フィレンツェの悲劇/ジャンニ・スキッキ」「チェネレントラ」、小劇場オペラ「外套」を演出。現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所プログラムアドバイザー兼アルテ・シェニカ講師。



クラシック・バレエ／雨森 景子

横浜市出身。鈴木和子に師事。1995年から2年間、ハンプルクバレエスクール、シアタークラス在学、修了。1997年、ノルウェーナショナルバレエ入団。初出演作品、アンマリー・ホームズ版「白鳥の湖」にて、1幕のパドトロワと4羽の白鳥を踊った。翌年、パーマネント契約を交わすと同時に、アルネ・ファゲルフォルト振り付け「ピノキオ」主演に選ばれ、自身に振り付けられることとなった。2001年の移籍までは、数々のソリスト、主役を踊った。主要作品は、「くるみ割り人形」金平糖の精、クララ、グレン・テトリエ振付「Amores」、イリ・キリアン振付「Stamping Ground」、ポール・ライトフット振付「Step Lightly」、マッツ・エック振付「眠れる森の美女」ルビーの精。

2001年に、英国ノーザンバレエへ、デイビッド・ニクソン就任時に入団。同年度にニクソン版「マダムバタフライ」主演、2004年にプリンシパルダンサーに昇格。2009年の退団まで、すべての作品において主演を務めた。ゲスト、ガラ出演では、バレエメット・コロンプスの「くるみ割り人形」にて金平糖の精を、マイアミ・バレエ・フェスティバルにて「マダムバタフライのパドゥー」、「スリープレリュード」（いずれもニクソン作品）をパートナーのケネス・ティンダルと踊った。

フリーランスに転身後は、ノーザンバレエでのゲストプリンシパルとしての出演や、英国ロイヤルバレエ元プリンシパルのウェイン・スリーブによる自叙公演にて相手役を務め、イギリス国内ツアーに参加。

その他の活動では、ノーザンバレエとフェニックスダンスシアター共同公演コリオグラフィックショーケースにて、自身振付の「Flavor fever」を発表。その後2020年3月まで、アカデミー・オブ・ノーザンバレエにて、プロフェッショナル・グラデュエート・プログラムや、CAT（センター・フォー・アドバンスド・トレーニング）を指導。

帰国後はAT Ballet Academy 設立ほか、道内にてゲスト講師の活動をしている。2022年、ヴィクトワールバレエコンペティションにて最優秀指導者賞を受賞。同年、JBC グランドチャンピオンシップスにて、自身の作品がモダンダンス部門第1位を受賞。2023年12月に上演された hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」にてバレエミストレスを務めた。2024年7月、第1586回札幌市民劇場「AQUArT」振付の関あさみのクリエイションに参加、出演。



クラシック・バレエ／高橋 宏尚

札幌市出身。3歳から久富淑子に師事。

1989年、英国ロイヤルバレエスクールに2年間在籍。卒業後、セントラル・スクール・オブ・バレエ（以下セントラルスクール）を経て、1992年故クリストファー・ゲイブル率いる英国ノーザンバレエ（以下ノーザンバレエ）に入団。セントラルスクール在学中の'92年にはブリドローザンヌ国際コンクールにてプロフェッショナル賞を受賞。ノーザンバレエ入団後は、数々のソリスト、プリンシパル役を務め'99年にプリンシパルダンサーに昇格。2001年現ディレクター、デイビッド・ニクソン就任時、イギリス初演「マダムバタフライ」にて父役、ボンゾ、ヤマドリを振り付けられた。他、「真夏の夜の夢」オベロン/シーシアス、「シンデレラ」マジシャン役などがある。

2016年、リーズグランドシアターにて、「高橋宏尚・ノーザンバレエ在団25周年記念公演」が上演された。その後、舞台に立ちながら、同団アシスタントバレエマスターに就任。同時にアシスタントディレクター・オブ・チルドレンズ・バレエも務めた。（英国放送協会子供向けチャンネル CBeebies で2012年より放送されている。）ガラ出演では、南アフリカケープタウン・シティ・バレエ団70周年記念ガラ、2010年コロンビア国際バレエフェスティバルがある。帰国まで、同バレエ団での指導のほか、アカデミー・オブ・ノーザンバレエにてプロフェッショナル・グラデュエート・プログラムやCAT（センター・フォー・アドバンスド・トレーニング）を指導。

2020年に帰国後、AT Ballet Academy を設立。2021年よりヴィクトワールバレエコンペティションにて審査員を務める。2022年より hitaru バレエプロジェクトにてアドバイザーボードメンバーとなる。2023年第1回 hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」にてバレエマスター兼、クララの父役で出演。



主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協力：一般社団法人 北海道二期会、NPO 法人 札幌室内歌劇場、
LC アルモーニカ、札幌オペラシンガーズ、
札幌大谷大学、北海道教育大学

後援：札幌市、札幌市教育委員会

助成：

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

